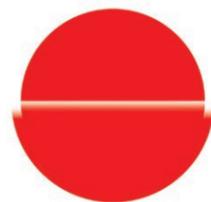


## シンボルロゴマークについて

赤は、豊かな食文化とみなぎる生命感を表します。円は「地球」「生命」「平和」を意味し、大きな円から新しい円が再生する瞬間をイメージさせる。白いセンターラインは、飢餓のない平等な社会の実現を目指します。



Niigata Award

## 賛助会の案内

食と私たち人類の命を守る本財団の事業に賛同し、応援して下さる皆様を募集しています。皆様からいただいた寄付金や会費、または人的・物的支援は、「食の新潟国際賞財団」の顕彰事業等の費用の一部に活用させていただきます。皆様からの温かいご支援を心からお願ひ申し上げます。

### ①賛助会入会について

#### 【賛助会費等】

次の賛助会費(年会費)または寄付金をご納入いただいた方。

- 正会員(賛助会費) 企業・団体……年額 5万円  
個人……年額 1万円
- 特別会員(寄付金等) 企業・団体……年額 10万円以上の寄付  
または相当する人的・物的支援

#### 【賛助会員の特典】

- 財団通信の送付
- セミナーなどへのご招待
- 授賞式へのご招待
- 食と花の世界フォーラムにいがた関連事業ご招待
- 財団発行のホームページ・機関誌へ賛助会員の掲載

### ②事務局へのお問い合わせ

#### 【お申し出】

本財団事務局までご連絡ください。  
所定のお申し出書や入会のお知らせ、申込用紙を送付させていただきます。  
公益社団法人 食の新潟国際賞財団事務局  
TEL:025-201-8901 FAX:025-201-8902  
E-mail: info@niigata-award.jp

#### 【払込方法】

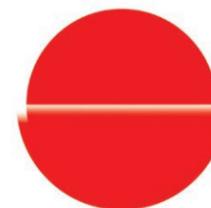
財団事務局が指定する金融機関口座にお振り込みをいただきます。

#### 【寄付金控除】

賛助会費及びこの寄付金は、法令に基づき、寄付金控除等の措置を受けられる場合があります。



食の新潟を生み出した先人の志を継承し  
新潟が世界に貢献する事業「食の新潟国際賞」



Niigata Award

# 佐野藤三郎記念 食の新潟国際賞



正賞「シェブリンゲン」  
宮田 亮平氏 作

## 公益財団法人 食の新潟国際賞財団

〒951-8131 新潟県新潟市中央区白山浦1丁目425番地9 新潟市白山浦庁舎1号棟4階

TEL.025-201-8901 FAX.025-201-8902

E-mail info@niigata-award.jp URL <http://www.niigata-award.jp>

In Memory of Sano Touzaburo

Niigata  
International  
Food  
Award

食の増産と改善に成功したモデル都市新潟。  
その新潟が食に貢献し、実践する人、団体、地域活動を表彰します。

## ■ 趣意

新潟は豊かな自然環境に恵まれ、食料生産や食品産業の盛んな地域です。水と土との壮絶な戦いによって全国一の美田を形成した多くの先人の志を、私たちは地域の精神風土として誇りにしてまいりました。

この「食の新潟」の歴史を築いた、先人の献身的精神と情熱を次世代に継承するため、新潟から世界に貢献する事業として、新潟県の産業・学術・行政分野の有志によって「食の新潟国際賞」を創設しました。

この「食の新潟国際賞」は世界の食における課題に取り組み、めざましい成果をあげている人(業績)、団体、地域を顕彰する事業です。

私たちは、食の新潟国際賞事業を通じて世界の人々の健康と福祉、平和の実現に少しでも役に立ちたい思いを強く持っております。

この取り組みに対し、皆様のご理解とご支援を賜りたく心よりお願い申し上げます。

公益財団法人 食の新潟国際賞財団

## ■ 財団の紹介

### (1) 創設趣旨

政令指定都市新潟市が目指す「食のブランド」としての、田園型拠点都市新潟を支える装置の一つである「食の新潟国際賞」を通し、世界の食に関する革新者を探すと同時に、食に関する人材や組織のネットワークを活用し、最先端の情報を集積するとともに、食関連産業の発展を目的とした情報発信を行う拠点として「食の新潟国際賞財団」が設立されました。

### (2) 財団の歴史

- 2007年(平成19年) 食の新潟国際賞創設準備委員会発足
- 2009年(平成21年) 一般財団法人 食の新潟国際賞財団 設立
- 2010年(平成22年) 第1回食の新潟国際賞表彰式典・祝賀会・記念講演開催
- 2012年(平成24年) 公益財団法人に正式移行
- 2018年(平成30年) 第5回食の新潟国際賞表彰式典開催予定

### (3) 主な事業(実施事業)

#### ①「食の新潟国際賞」顕彰事業

世界の食の質と量を高め、食文化と食産業を創造的に発展させ、人類の福祉と健康と平和に多大な貢献のあった個人または団体を顕彰します。  
顕彰は表彰式のほか受賞者記念講演、祝賀交流会を開催します。



#### ②食に関するシンポジウム、セミナー、研究会の企画及び開催

国際賞事業を通じて培われた国内外のネットワークを基に「食」をテーマに、国内外の講師を招いての講演会やセミナーを開催し食に関する最新情報をお伝えします。



#### ③海外視察団派遣事業

食に関連する海外視察・研修を企画し、視察訪問団を派遣します。



#### ④産学官連携事業

「食」分野での産学官連携事業の実施や参画など食品産業、農業、6次産業化などへの支援事業を行います。



#### ⑤情報の発信

財団通信などを通して「食」に関する情報の収集と発信。

## — 国際賞名の冠 佐野藤三郎氏の紹介 —

佐野藤三郎氏(1923~1994)は新潟市の農家に生まれ、1955(昭和30)年、亀田郷土地改良区理事長となり、地図のない土地と呼ばれた腰までつかる泥田を日本有数な米の産地となる美田に変え食糧生産基盤を確立しながら自立的な地域づくりをリードした偉大な指導者です。

さらにこの経験を活かし、中国政府の要請にこたえ、中国黒龍江省の三江平原開発協力を尽力。初の日本政府による中国向けODA(政府開発援助)を実現させるなど日中協力の草分けとして、中国有数の食糧生産基地の基盤整備に貢献しました。佐野氏の情熱と業績を誇りに、現在の「食の新潟」を作り上げた多くの新潟の先人を象徴する人物として賞名の冠としました。



## ■ 「食の新潟国際賞」の概要

### (1) 顕彰目的

世界における食の質と量を高め、食文化と食産業を創造的に発展させ、人類の福祉と健康・平和に多大な貢献のあった個人または団体を顕彰する。

### (2) 顕彰内容

- ①大賞 ……………世界の食分野において世界的に顕著な貢献をした人(団体)。
- ②佐野藤三郎特別賞 ……………食料の生産・農業技術の向上、持続可能な農業や地域モデルの構築など高度な国際協力に貢献した人(団体)。
- ③21世紀希望賞 ……………将来的な社会貢献への可能性・実現性をめざし、今後発展が期待される共同研究・開発・実用化実験、活動など。45歳以下の研究者・個人を対象。



## ■ 正賞について

正賞として授与されるモニュメントは、新潟県佐渡市出身の世界的な金属工芸作家であり、文化庁長官(前東京藝術大学学長)の宮田亮平氏によって制作された「シュプリングン」です。テーマは「跳躍。そして希望」。未来に向かって2頭のイルカが力強く宙を舞います。



世界を救う食のイノベーターに光を